

OCARINA ENSEMBLE

オカリナ 七重奏団

ゴブ

G.O.B.

オカリナ発祥の地イタリア〈ブードリオ〉より、
至極のハーモニーが来日!



予定曲目

帰れソレントへ(E.デ・クルティス)、フニクリ・フニクラ(L.デンツァ)、鳥の歌(G.グロッシ)、ふるさと(岡野貞一)、
となりのトトロ(久石譲)、リベルタンゴ(A.ピアソラ)、歌劇『セビリアの理髪師』より“私は町の何でも屋”(G.ロッシーニ)、他

特設サイトは
こちら



■公演日程(2026年)

3月21日(土) 7:00p.m. イイズカコスモスコモン

3月22日(日) 3:00p.m. 都城市総合文化ホール 大ホール

入場料金: A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 (税込)

【都城公演】※未就学のお子様については、託児サービスを行っています。

(1人目1,000円、2人目以降500円) 首が座った乳児〜就学前のお子様までが対象です。

申込締切 3/8(日)。ただし定員になり次第締め切ります。

託児のお申込み: 都城市総合文化ホール ☎0986(23) 7140

※未就学児童の入場は固くお断りいたします。

主催: MIN-ON、都城市文化振興財団・MAST共同事業体【都城公演】

後援: イタリア大使館、イタリア文化会館、ENITイタリア政府観光局

制作協力: ハーモニーフィールズ

■お問い合わせ: MIN-ON飯塚 ☎0948(25) 5085【飯塚公演】
MIN-ON宮崎 ☎0985(27) 8941【都城公演】

■チケットのお求めは
チケットぴあ(セブンイレブン) [Pコード: 312-002【飯塚】 312-003【都城】]
ローソンチケット ①WEB <https://l-tike.com/>

②ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード: 84218]

イープラス <https://eplus.jp/> (ファミリーマート)

【飯塚公演】イイズカコスモスコモン ☎0948(21) 0505

はたや楽器店 ☎0948(22) 1058

【都城公演】都城市総合文化ホール ☎0986(23) 7190

(予約専用番号 10:00~19:00 / 水曜休館)

西村楽器都城店 ☎0986(24) 2156

宮崎山形屋 ☎0985(31) 3202



Ambasciata d'Italia
Tokyo



ISTITUTO
italiano
di CULTURA
TOKYO
OSAKA



芸術と未来・G.O.B.の挑戦

どの分野でもそうなのだが、私たちが直面している課題のひとつに、人材不足がある。地球の人口は増え続けているにもかかわらず、だ。芸術関係も例外ではない。音楽監督エミリアーノ氏によれば、G.O.B.もまたその危険にずっと向き合ってきたと言う。G.O.B.の歴史は1864年に始まるが、紆余曲折はあったにしても、160年も続くこの合奏団は奇跡的な存在で、今やイタリアの文化遺産にもなった。

日本にオカリナが紹介されたのは大正時代だが、一般人に急激な広まりを見せたのは、国産オカリナが普及した戦後のこと。土という素材の温もり、掌に収まる親密性と利便性、温か度どこか郷愁を誘う音色、誰でもすぐに音が出せるという簡便性、そして手頃な価格と名称の愛らしさ。国民すべてが口ずさめる日本の童謡唱歌の演奏にもマッチした。1966年にはTVドラマ「悪魔くん」、そして1986年、宗次郎さん演奏のNHKTV番組「大黄河」のテーマ曲により、オカリナは爆発的な人気を博した。

そんなオカリナの生まれ故郷は、ご存じのようにイタリアの小さな町ブードリオであり、そこで生まれたG.O.B.は、ブードリオ製のオカリナで七重奏、という独特のスタイルを守り続けている。もちろんオカリナの楽しみ方は、七重奏だけが本物ということではなく、ソロや二重奏、三重奏、他楽器との合奏など、多様であって良いのだが、G.O.B.の演奏を聴くと、その明るさと力強さ、音の厚さ、イタリア人の歌心に、驚きとともに未知の世界を聴いた人は数多いことだろう。

2014年の初来日から12年、この間、当然ながらメンバーの入れ替わりもあったが、人材を育てG.O.B.を継続させるという努力が実を結び、若い優秀なメンバーも加わり、ベテランのメンバーとともに、新たなG.O.B.の世界を創ってきている。エミリアーノ氏曰く、「G.O.B.の未来は、若いメンバーによる芸術的成長と世界の舞台への進出、プログラムの再編と他の楽器を加えての新たな音響創造の挑戦である」と。

2026年の来日ツアーが楽しみである。

嶋 和彦(元・浜松市楽器博物館館長)

Profile



イタリア北部に位置する〈ブードリオ〉で、ジュゼッペ・ドナーティ(1836-1925)によって初めてオカリナが作られたのは1853年。その11年後の1864年、ドナーティを中心にオカリナ五重奏団Gruppo Ocarinistico Budriese (グループ・オカリニスティコ・ブードリエーゼ、通称:G.O.B.)が結成されました。現在は、異なる7つのサイズのオカリナを巧みに操る七重奏団として活動を続けています。ドナーティが残した優れた技術は、今なおブードリオで5代にわたり受け継がれており、メンバーは代々その窯で作られたオカリナを愛用しています。また、メンバーも代々ブードリオのオカリナ学校で教育を受けた優秀な演者らによって構成されており、2011年には、楽団の存在そのものが、イタリア文化省の「文化遺産」に認定されました。今や人気・実力ともにイタリアを代表する“元祖オカリナ合奏団”として、世界中で人気を博しています。